

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	歩道設置事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
歩行者に対する安全の確保及び車両通行の円滑化が図られています。		歩行者に対する安全の確保や車両通行の円滑化のため、歩道を新設します。また、段差のない歩道にします。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	歩道整備進捗率(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの整備累計(2,693m)に対する当該年度までの整備累計の率				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			65	66	
	実績			52		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：若干遅れている					
	遅れている理由	城所線の整備延長が計画より短縮されたため。				
平成26年度の主な取組と成果						
浅間町南原線の用地買収及び城所線と長持56号線の整備を行いました。						
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	歩道を整備することで安全性が保たれ、快適な生活環境が図れることから、必要性は高いと考えます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	歩行者に対する安全の確保や、車両の通行の円滑化が図れ、有効性は高いと考えます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	安全で快適な生活環境の確保には歩車道分離が有効であり、妥当性は高いと考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	交通量の多い幹線道路に歩道を設置することにより交通の円滑化と安全性が確保され、交通体系の効率化が高まります。	高中低
今後に向けた課題の分析 計画的に用地買収を進めるとともに、水路上など効率的に整備可能な路線の選定をしていきます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		歩道整備、補償	歩道整備、用地買収	歩道の整備	歩道の整備
財源内訳	国庫支出金	4,400	9,295	0	12,100
	県支出金	0	0	0	0
	起債	12,000	9,000	33,000	23,500
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	13,081	3,044	11,182	2,650
事業費 (A)		29,481	21,339	44,182	38,250
執行率 (%)		90.64	91.26	97.47	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 引き続き浅間町南原線の用地買収を進め、歩道整備を行います。また、城所線の整備を進めます。
課長コメント 歩道整備は、歩行者の安全確保や交通の円滑化のため、必要不可欠な事業ですが、用地買収や工事に相当な費用がかかるため、今後も国庫補助事業として計画的に進めていきます。